

会議録要点記録

1. 会議名	石垣市子ども・子育て会議（第3回）
2. 開催日時	平成26年8月30日（土） 17:00～19:00
3. 開催場所	石垣市健康福祉センター 2階視聴覚室
4. 出席者	＜委員＞ 石垣市子ども・子育て会議委員17名（3名欠席） ＜事務局＞ 児童家庭課長、教育委員会総務課長、学校指導課長、 学務課長補佐、学校指導課指導主事、他職員6名
5. 傍聴人	14名
6. 次第	1 開 会 2 委員自己紹介 3 議 題 （1）ニーズ調査による見込み量の算出結果について （2）教育・保育事業の確保方策について （3）子ども・子育て支援新制度に関する各種事業等の基準案について （4）その他 4 閉 会
7. 配布資料	資料1 教育・保育事業 各年度における教育・保育事業必要量の見込み 資料2 子ども・子育て支援新制度に関する各種事業等の基準案 参考1 「石垣市子ども・子育て支援会議」委員名簿 参考2 「第2回石垣市子ども・子育て会議議事録」
8. 会議の内容	以下のとおり

事務局	<p>1. 開 会 (17:00)</p> <p>2. 委員自己紹介</p> <p>3. 議 題</p> <p>(1) ニーズ調査による見込み量の算出結果について</p> <p>【(資料1) 教育・保育事業 各年度における教育・保育事業必要量の見込みについて説明】</p>
会 長	<p>今日は方向性そのあと実施時期と分けてから意見をさせていただければと思っております。まずは教育・保育基盤の方向性について何かご質問がある方から受けたいと思いますのでいかがでしょうか。確認のことで結構です。まずそれでお互い意見交換しながら意見をだしていければと。</p>
委 員	<p>今の説明のなかの家庭的保育のところですが、障がい児等で家庭で保育を受けるについてのところで居宅訪問型事業というのがあると思うのですがそれについては特に記載がないのですがそれはどんなふうになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>居宅訪問型保育につきましては1対1が基本ということになっていますので施設からの移行というのはなかなか難しいだろうということを考えていますので、施設からの移行ということではなくてもし居宅的な訪問事業はベビーシッターのようなものでございますのでそれをおやりになるということであれば市のほうでは認可していく方向で考えております。</p>
委 員	<p>ちょっとお聞きしたいことがありまして、公立保育園の整備ということでこれを民営化するという事はないのでしょうか。幼稚園との統合をするという形になりますか。</p>
事務局	<p>公立保育園につきましても具体的にどれをどうというわけでもございませんけど、5ヵ年計画の中にこちらに示しているとおり、とりあえず老朽化する施設については認定子ども園への移行を進めていくということでありまして、これも公立幼稚園と保育園のお互い公立同士で、午前の公立幼稚園、午後は保育という考え方もありますしこのへんの考え方に沿って随時公立保育園の在り方については検討を進めていきたいと考えています。具体的にはこの後出てきますのでその中で説明させていただきます。</p>

<p>会 長</p>	<p>それでたとえば公立幼稚園の確認としては3年保育をやる、3歳・4歳・5歳の保育をやるということによろしいですね。そのところで認定子ども園に代わっていくということになりますのでそこで受皿が、ある程度の数が出てくるだろうと。そのことは皆了解していけるんじゃないかと。</p> <p>ただ、3歳児保育いつごろから始める予定でいるかということになるんですけど。順次と言いました。確かに言葉としては分かりますけども意向としてはどのあたりからということになるんでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず、基準に照らして基盤整備をしていかなければいけないのでいわゆる幼稚園の定数に応じた基準整備に基づいた部屋の整備、これを整えていく必要があります。増改築も含めてハードの改修事業が予算との関係が出てきますのでそのへんも照合わせながら随時進めていくという考えでございます。</p>
<p>会 長</p>	<p>時期のめどは立っていないのですか。例えばいつ頃かということ。</p>
<p>事務局</p>	<p>この件に関しましては、計画策定を勿論進めるなかで教育委員会と連携してたとえば今言った保育所と幼稚園を市は1つのものにまとめていきたいという考えをもっています。いつ頃になるということに関してはですね、予算の関係もありますし、教育委員会の職員も入ってもらって市のほうで窓口を一本化して何年度には何処という具体的な計画を作っていきたい、そのように考えています。</p>
<p>会 長</p>	<p>何年にいくつ、何年にいくつという形にしなければならないだろうと思います。保育は、どれくらいの時期にいくつぐらいの数が出てくると。それともうひとつよろしいですか。老朽化に伴う公立幼稚園が周辺公立保育園と統合してと書いてありますが、この統合で実際にいうと待機児解消にはならないだろうと思いますが。</p>
<p>事務局</p>	<p>公立だけで待機児童解消は済みませんが当然認可保育園の推進支援、一番ポイントとなるのは、既存の認可保育園をどう認定子ども園化にしたり分園をしたり増園をしていただいたり、さらに認可外から認可園への促進を図っていくところが大きなポイントになってこようかと思います。ですから、次に示されてくる計画のなかで私たちは公立としてある程度目安が立てられるものについては計画の中に反映されておりますけど、認可保育園のむこう5カ年間の計画につきましては、各法人の方針に沿ってきますのでそこらへんを照らし合わせて、待機児童の解消に向けて大きく支援をしていきたいと考えています。</p>

会 長	<p>待機児童解消というのは石垣市の保育施設、教育施設全部でやるものだと思います。公立はやらなくていいということでは全然ないので。その時に小規模保育をするっていったって受皿なんかをどうするかという問題があって、この部分はもうちょっと考えてほしい。なぜかという、もう既存の保育所は人数いっぱい分入っているんですね。それと統合したって待機児童解消にならないわけです。待機児童解消するための方策、考え、こういう形で既存の公立保育園に入れない方がいいかどうか分からないですけど検討してみしてほしいと思います。既存の保育園にしても子どもの数というのは、そのままだからいかにも待機児童解消の枠を使いながら認定子ども園の老朽施設を改築するだけになってしまうんですね。今、認可保育園が安心子ども基金を使って改築をやっている。その改築のときには既存の定数10名・20名・30名と数を多くしなければ改築はできないので、みんなそれに沿ってやっているわけです。だからその部分はちょっと考えていただきたい。</p> <p>認可外・小規模保育はどうですか。</p>
委 員	<p>その件についてですけどね、これまでやってきたシステムのなかで0歳児から5歳児まで保育していたわけですね。良い面もあったし、悪い面もあったし。私たちも会議のなかでいろいろ話し合ったんですけど、これまでの保育を大事にしながらぜひ地域型保育事業を考えてほしいという意見が多々でした。それから石垣市がこれまで支えてきた認可外保育の内容は、子どものために、みなすべて良い内容で保育をしている。それを認めてもらいたい。それから0歳から5歳まで長年のなかでやってきた保育のシステムの内容をこのような形で崩されるというところに大きな疑問があるという話も出てきました。だからハイとははっきり言えない部分があります。</p>
会 長	<p>教育保育基盤の方向性について公立保育園では、3年保育をやり認定こども園に移行するという、次回の時にはその数、どういう形で出てくるかというのが出てくることになっていますので。このあたりで、次にいってよろしいでしょうか。</p> <p>次に教育・保育の確保の内容及び実施時期について事務局のほうからよろしくをお願いします。</p> <p>(2) 教育・保育の確保の内容及び実施時期について</p> <p>【(資料1) 教育・保育事業 各年度における教育・保育事業必要量の見込み：教育・保育の確保の内容及び実施時期について説明】</p>
会 長	<p>3ページの矢印の下の1号認定における年齢別必要量の算出とありまして、平成27年、3歳児48人、4歳児105人、5歳児318人、これはあくまでも計算上このように出るということですね。</p>

事務局	そういうことでございます。
会 長	<p>今まで石垣市が預かり保育をしていて、親達のなかでその5歳児の幼稚園の必要性というのはずっと出ている。ところが実際にこれを見たときに4歳105人、5歳318人。もし仮に5歳児318人が1号認定になるならば200人の親が仕事を辞めなければいけない、退職しているという前提になるわけですよ。これ以外は1号認定にならないわけですね、1号認定というのは働いてない親ですから。そうですね。</p>
事務局	<p>必ずしもそうではなくて、就労にかかわらず午前中保育を必要としている方々が1号認定ということになります。就労は関係ありません。アンケート調査のなかでも無職の方々、最後の無職×無職ということでそれは潜在的ニーズとして入っているわけでございます。就労している・いないに関わらず午前中の保育・教育を必要としている方々が1号認定ですよ。だから共働きの方々は、国の質問として1号認定を受けられないのかという質問があった時にそうではなくて午後の預かりということがあるので1号認定を受けられますよというふうには回答していると思っております。</p>
会 長	午後の預かりがなくなるわけですよ。
事務局	<p>現状の幼稚園における預かりはなくなりますが、施設給付型の幼稚園の場合は、市町村から受託をうけて生活支援事業などの「一時預かり事業」を委託して実施することができます。</p>
会 長	<p>「一時預かり」やるときは雇用を条件にして一時預かりできませんとなりますよね。</p>
事務局	<p>はい。必ずしも1号認定の推計が預かりを全部がニーズということをご配慮いただきたいというふうに思っております。だから就労していないことではないということですね。</p>
会 長	<p>教育を必要とする枠になっていくわけですよ。実際に言えば働いている親がそれは考えていくだろうと。2号認定の子どもはここには入らない、実際にやったのとは違う形でまた出てくるでしょうからね。見込量について何かご質問ありますでしょうか。</p>
事務局	<p>もう、1つだけ事務局から。石垣市の場合は0歳から5歳までを全数調査をしておりますので比較的各歳の必要量・見込量の割合というのを簡単に出すこと</p>

	<p>ができました。他の市町村に関しては1000名とか2000名とかですね、児童人口に関して非常に少ない形でアンケート調査をとっており、各市町村では各歳ごとの年齢をだすための補正定数を掛けながらやっていますが、石垣市というのは補正定数をかけずにそのままの割合でやっておりますので比較的利用意向については利用意向に沿った割合で出させていただいたものというふうに考えております。</p>
<p>会 長</p>	<p>事務局に聞きたいですけど、これはアンケートに基づく数字だと思って現実には石垣市の場合だと5歳児になると幼稚園に行くという形になっています。たとえば4歳児までが2号認定の子どもだったらその子が幼稚園に行くようになったときに行く方法というのはあるのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>認定の申請を併願していただくといい方法がございます。ようするに1号認定と2号認定を併願して両方だすということも可能です。</p>
<p>会 長</p>	<p>そうすると認定変更の申請も必要とするということですね。それと3号認定の子どもの数ですね、平成27年。0歳児244名、1歳児323名、2歳児346名、この数をそれぞれ頭のなかに入れていただいてこの数をどういう形で埋められるのかというのが次の間になってくるわけですね。この数をどうやって埋めるのか。次の見込量に対する実施時期のほうに入ってよろしいですか。</p>
	<p>※見込量に対する確保の方策と実施時期について事務局より説明</p>
<p>会 長</p>	<p>ご質問ありますでしょうか。細かくて分かりにくいと思うんですけど、丁寧に見ていければというふうに思っています。事務局に聞きたいですけどもこれで1号、2号、3号の見込量がでて、これを修正するということはあり得ないのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>あり得ます。子ども・子育て会議で意見を聴き、幼稚園型の認定子ども園等の移行時期等も踏まえて、さらにその移行時期と合わせて3歳児枠の調整をどのような形にするのかとか、0・1・2の枠をどのような形で各年度配置するのかということにつきましては、精査が必要かと思っていますので意向をお伺いしながら中身については詰めていきたいというふうに考えております。</p>
<p>委 員</p>	<p>3号認定の見込量に対する確保の方策ですけど、たとえば平成27年度で0歳・1歳・2歳を足したら200何十名かの過不足がでる計算ですよ。27年度の方策ですけど、認可外保育所1カ所そして認可外保育施設の5施設が小規模保育へ移行とあるのですが、これで200何十名かの確保ができますか。</p>

事務局	<p>27年度だけの整備では比較はできないです。ですからこの計画は今5カ年間ということで解消していこうと、解消の目途をどのような形でつけるかということで27年度だけでは到底おいつかないということになっております。そのために28年度・29年度・30・31とですね、可能な限り0・1・2の枠を増やすためにどのような形で市として整備していけばいいかということの方向性をある程度示したと。ただ、それだけでは足りない部分がございますので今後どのような形にしていけばいいのか皆さんのご意見もお伺いしながら事務局としても充足率をあげるための計画づくりをしていきたいと思っております。</p>
委員	<p>過不足を単年度で解消するのは難しいと、それを5年度でやるとおっしゃったのですが、その溢れた分の子ども達、これはあくまで見込量であって増える可能性もあるわけですね。現在、石垣市の人口も増えているわけですから、見込量が増加の可能性もあると。たとえば、方策ですけど認可外保育所1カ所を認可化しますとか、認可外保育施設の5施設を小規模保育園へという方策の他にもう少し他の方策がないのかなと思っております。</p>
事務局	<p>この方策ですが、行政としてある程度、先ほど方向性のなかでご説明をさせていただきまされたけれども、公立の保育施設は老朽化が進んでいるため、財政交渉しながら施設の改修をしていくという考え、もう1つは認可保育園、認可外保育所の方向性を示していきたいんですけど、やはり基本的な意向を把握して具体的な数字をあげていくことがなかなか難しい。それと、認可外の県の安心子ども基金の活用ですね。施設を改修するための補助金が県・国から示されてきますので、認可保育園、認可外施設に関しても補助金の給付支援をしながらその中で進めていきたいと考えております。ですから、資料の表の中に意向が反映されてきて初めて具体的な数字が出てくるかと思っておりますのでご理解いただきたいと思います。</p>
会長	<p>この見込量ありますでしょう。この数によって全部動いているんです。これだけの数が必要だということが見込量なんですね。その見込量の数に対して5年間でそれを整備しますというのが子ども・子育て会議の計画方向ですね。</p>
事務局	<p>そうです。 認可外へ行っておられる子どもでも親の希望でそこに行っておられる子ども達もいると思います。ですから必ずしも、石垣市の全保育施設のなかで必要量をカバーするという考え方も必要ではないかなと考えております。 全体的には公立、認可保育所、認定子ども園等で一部足りない部分については、ある一定程度の期間を認可外保育施設の力も借りながら市全体での保育施</p>

設を活用したカバーをするという考え方も見込量の確保について持っておかなければいけないということが1つあるだろうと思います。さらに石垣市の場合には人口推計を行いますと、徐々にではありますが子どもの数は減っていくということになります。一方では、過剰の保育施設の整備を行いますと維持管理をするときに必要な予算を投じてしまうということになりますので、そういったことの兼ね合いを検討しながら随時地域の実情に応じた整備の方向性というのを検討していかないといけないということもありますのである程度の期間的な憂慮というものもご配慮いただければというふうに思っております。

会 長

確かに今言うようなことで、この無認可保育所いいですよという保護者が本当にどれくらいいるのか想定していかないと。実際、公的な整備が遅れているからこそ沖縄県の待機児がこれだけ出てきているんだという現実の中で、その数をどこまでどういう形でやるかということによってはまた待機児が決してなくなるということがあるだろうと。

公的な責任として出来る限りを整えるというのが基本姿勢であってほしいと思っています。公的な責任のなかで子どもの最善の環境を、そして良い保育を大人の責任として与えよう、市としてそれを育てなきゃいけないんだということを石垣市が一生懸命やってくれていると思うんですけど。見込みの数字をどういうふうにするかということ自分たちの中で考えていかなければ5年経っても終わらないでしょう。認可外保育園が多いのは圧倒的に沖縄ですよ。それと幼稚園・保育所が存在する中でも全国一で幼稚園就園比率が高いです。保育所が圧倒的に少なく、で待機児童がでてくる。そういう中でどうやって数値を入れるのかということを考えてほしいなと思うんですね。安易にやって5年たって待機児がいたじゃなくて、すべての子どもが本当にきっちり保障できるような形をお願いしたい。

どうでしょうか、いろいろ資料が3枚ほどでていますが、やはり目をとおして見て頂きたい。またこれは変更する可能性があるということですね。

事務局

十分に変更する予定でございます。先ほども申しましたように、3歳児から5歳児の幼稚園の枠の設定の考え方であるとか、小規模保育所等によって0歳から1歳・2歳の枠というのはまだ未確定のまま現状の皆さんがおやりになっている実績をそのまま入れているというだけでございますので移行してその職員規模に応じた形の定員割というものがあろうかと思っておりますので、それに準じて入れていきたいと思っています。今の数字はあくまでも実績に基づいてシミュレーションしたときに見込量に対してこういう状況がありますというお知らせをしておきたいということと、市の保育施設の整備の方向性としてこういうことを具体的に実施していきたいということを今回の子ども・子育て会議のほうでご理解を頂きたいということでございます。

会 長	次のほうにあってよろしいですか。事務局のほうよろしくをお願いします。
事務局	<p>(3) 子ども・子育て支援新制度に関する各種事業等の基準案について 【(資料2) 子ども・子育て支援新制度に関する各種基準案について 説明】</p>
会 長	<p>今の基準が9月の議会のほうへ提出ということになりますね。で今回この要約したものをこの会議で承認するという必要とするだろうと。ほとんど国の基準に従っていると考えていいだろうと思います。</p> <p>ただ現実的にいえば小規模保育、ほとんど石垣市だとC型をとっていきなうと思います。C型をとるということは市町村が行う研修の修了者ということになります。ところが来年の4月から5カ所実際にそれで動くということなでもう早急にやっていたらいいかなと。いけな。</p> <p>また、幼稚園の年齢要綱ありますよね、あれはいつ頃どういふふうにかわりますか。幼稚園は3歳児からだれでも入ることができると明記される、その教育を与えようというのが国の方針なんです。いつ頃になるんですか。</p>
事務局	<p>幼稚園の要綱ですが、確かに今回の制度では3歳から教育を受けることが保障されています。しかし現実として石垣市では、まだ幼稚園の整備はされておりません。27年度に関しましては、どうしても今は3歳児というのは受け入れられないことができませんので、まずは4歳児5歳児の幼稚園を進めていきたい。それから順次教室等の空きスペース等を把握しながら3歳児の受入れが可能であれば進めていきたいと考えております。この要綱等につきましては、12月議会のほうで条例・規約の改正等を行っていきなうというふうと考えております。</p>
委 員	<p>C型の小規模保育事業の件ですが、配置する職員の基準は市町村長が行う研修を修了した者とあります。来年4月から早急に求められるものと思いますが、たとえば市が要請に対して助成をすなうか予算付をすなうかそのへんの考えはあるのでしょうか。例えば、沖縄本島に行くとか、ここに講師を呼ぶ等、いろいろな方法はあると思いますがそういう予算を考えていらっしやいますでしょうか。</p>
事務局	<p>9月議会条例等も制定しまして、併せて早いうちに研修が受けられるような仕組みづくりを作り上げたいと考えております。議会の議決を経て、具体的な研修の在り方については周知をしていきなうと考えております。</p>
委 員	<p>来年4月からA・B型で19人以下の0・1・2歳をスタートした場合です</p>

事務局	<p>が、自分の園を例にすると今現在3歳児も4歳児もいるわけですよ。来年の4月から1歳2歳しかやりませんよとなったとき、現在いる3歳以上の子ども達の受皿はどうなりますか。うちの園は2歳児までになったから皆さん勝手に探してくださいと放り出すのですか。そこもはっきりさせないとスタートできないと思いますけど。</p>
会 長	<p>今、待機児童ということで0・1・2歳、今回特に我々が認可外にお願いしたいのは0・1・2歳です。そして3・4歳児でも、確かにその心配もあります。3・4・5歳を専門的にみる保育所と0・1・2の小規模保育それをつなぐ役目が我々市にあります。ですから、そういう形でできるだけ地域に近い形でそのへんの調整を市の方でさせていただくということです。</p> <p>認可外がこの制度のなかに入っていただくことが大変大切です。ですから是非ご理解いただきたい。もう一度申し上げますが0・1・2歳、小規模保育そして3・4・5に繋ぐには市町村が責任もってさせていただく、そういうことでございます。</p>
事務局	<p>これから、認可外保育園の問題、認可保育園の問題、公立保育園の問題それと幼稚園の問題が出てきます。そういう中で精いっぱい形をみんなで努力していい保育施設を、子どもが安心して一番安らげる、良い保育を受けられる環境を作りたいと思っています。そのためには、この会議の委員の方々が意見を出して子どもに代わって代弁する事をしていただければありがたいなと思います。</p>
会 長	<p>それでは今後のスケジュールについてですが、9月の後半末ごろに第4回子ども・子育て会議のほうを予定しております。見込み量の数字の修正、そして計画の全体的なものをお示しできればというふうに考えております。</p> <p>よろしければこれで第3回子ども・子育て会議を終わりたいと思います。どうもありがとうございました。</p>